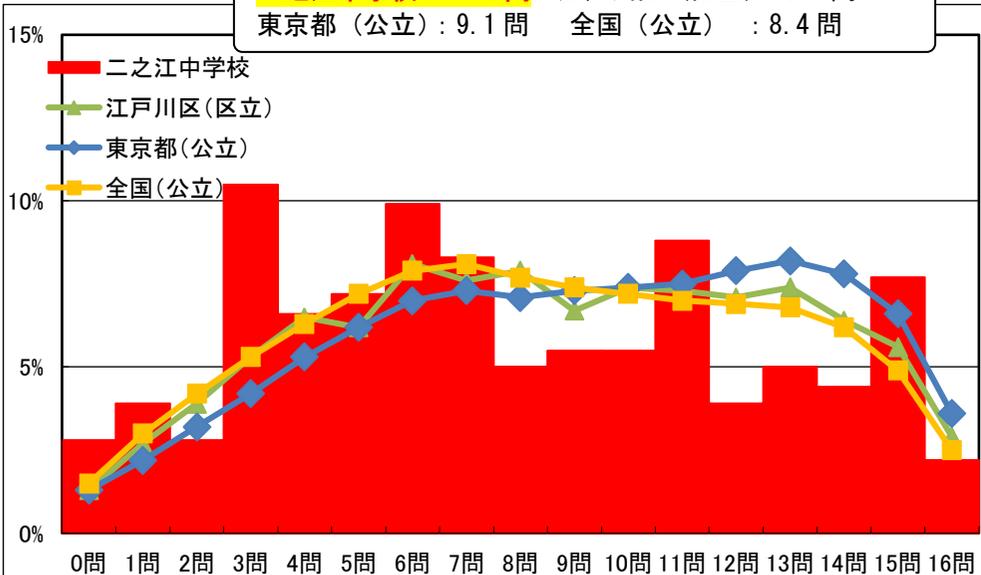


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【数学】二之江中学校

正答数分布

平均正答数

二之江中学校：7.9問 江戸川区（区立）：8.6問
東京都（公立）：9.1問 全国（公立）：8.4問

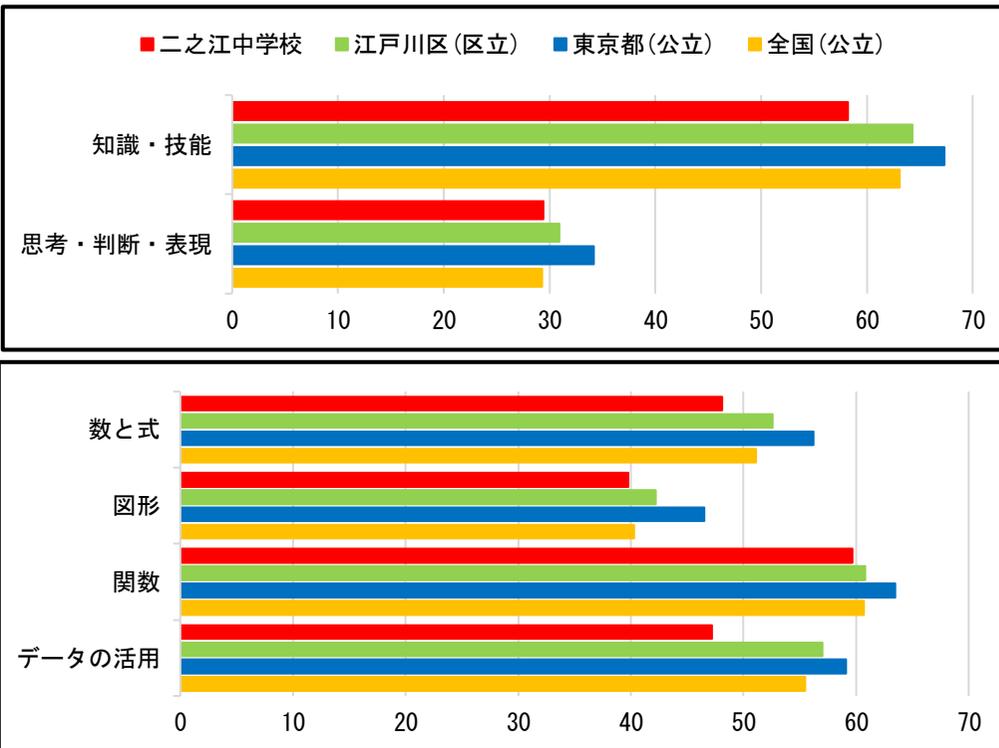


<四分位における割合(都全体の四分位による)>

数 学	上 位 ← 下 位			
	A層 13~16問	B層 9~12問	C層 6~8問	D層 0~5問
二之江中学校	19.3	23.7	23.2	33.8
江戸川区（区立）	22.3	28.5	23.6	25.6
東京都（公立）	26.2	30.1	21.4	22.3
全国（公立）	20.4	28.5	23.7	27.4

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都（公立）のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

二之江中学校	49%
江戸川区（区立）	54%
東京都（公立）	57%
全国（公立）	52.5%
都との差	-8ポイント

【分析結果と授業改善に向けて】

四分位を見ると、A・B層ともに東京都よりも下回る結果となった。この要因としては、授業で理解してきたことが定着されていないため、応用問題の解決に至らなかったというところにある。

今後は、コの字型・4人組グループ学習をしっかりと活用して、生徒の思考をより広げられる活動を増やすことが必要であると考えます。授業では、ペア学習や4人組での活動の機会を増やしていく。また、ミライシードなどを活用して家庭学習でも基礎基本の定着を図れる機会を取り入れていく。